PJ ハンガー取扱説明書（SONY 用）

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用の前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

⚠ 注 意　下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

- すべての止めネジはしっかりと確実に固定してください。けがや破損の原因となります。

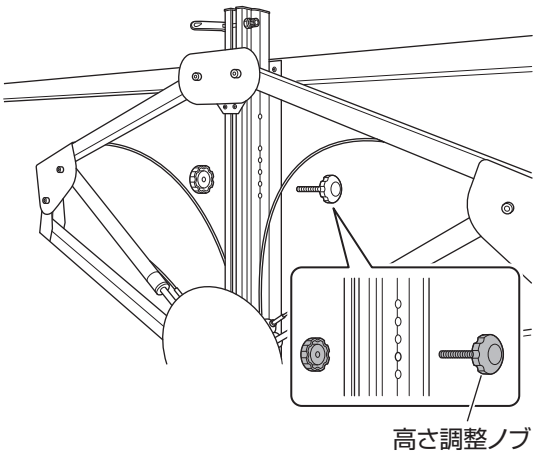
開梱時に必ず内容をご確認ください。

PJ ハンガー …… 1個
ケーブルホルダー …… 3個
プロジェクター固定ネジ（M4×10 セムス P＝3） 4個

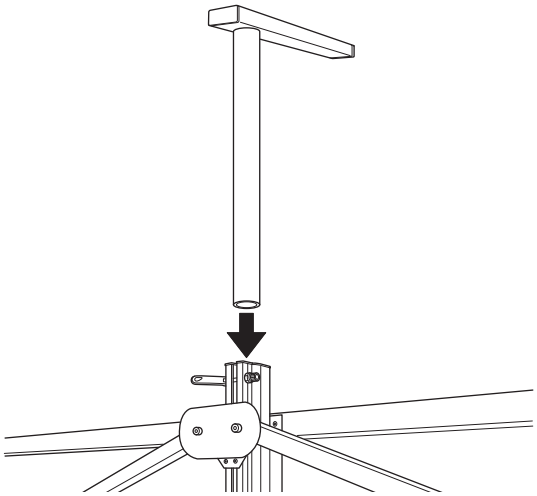
PJ ハンガーをセットする

スクリーン本体の PJ アームの高さを設定する

1. PJ アームの高さ調整ノブを最上段の穴に差し込み、しっかりと確実に固定します。
   ・最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。

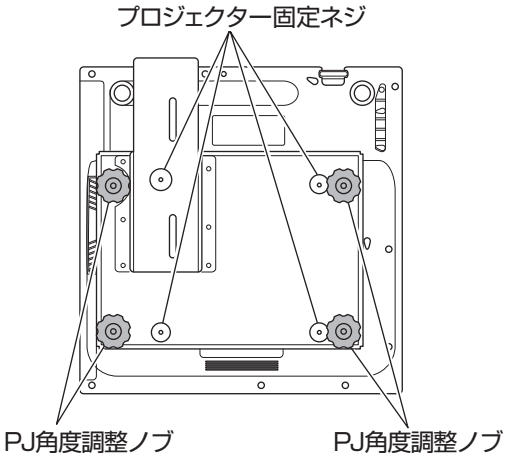


2. PJ アームを本体に差し込みます。



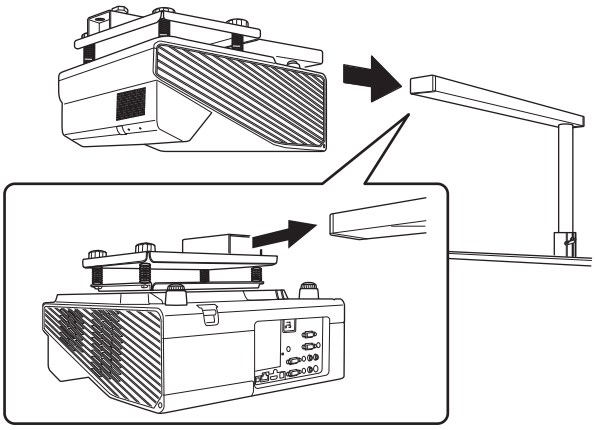
PJ ハンガーを取り付ける

1. プロジェクターを裏返して、底面のネジ穴に合わせて PJ ハンガーを置きます。
2. プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4 箇所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。
   - プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
   - 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
   - PJ ハンガーを分解しないでください。
   - 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

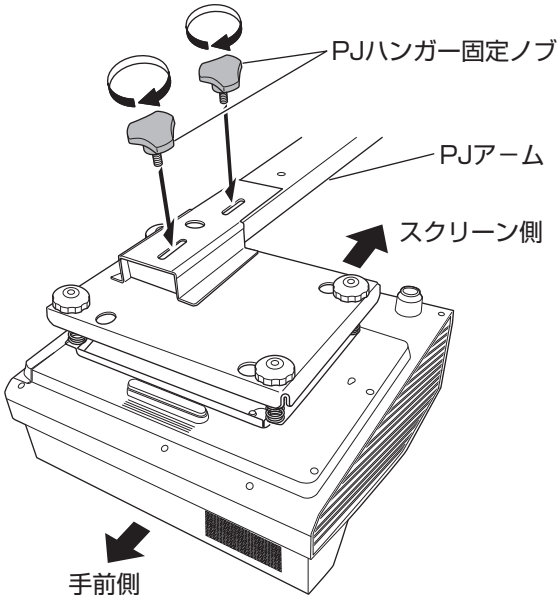


PJ ハンガーを PJ アームに設置する

1. プロジェクターを取り付けた PJ ハンガーを PJ アームに差し込みます。
   - プロジェクターの前後を確認してください。
   - バネの中に入っているワッシャーが、バネの根元中心にくるようにセットしてください。バネのヨレが軽減されます。



2. PJ アームの 3 つのネジ穴のうち、手前側の 2 つのネジ穴をスリットに合わせ、PJ ハンガー固定ノブを差し込んで締めます。



投影画面を調整する

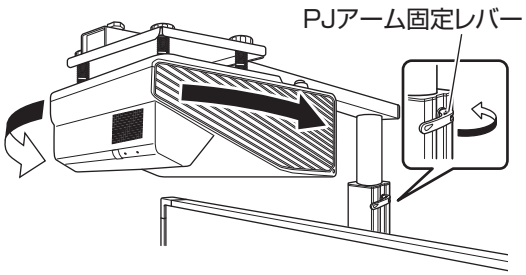
1. プロジェクターの電源を ON にします。

参照　詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

2. プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影してください。

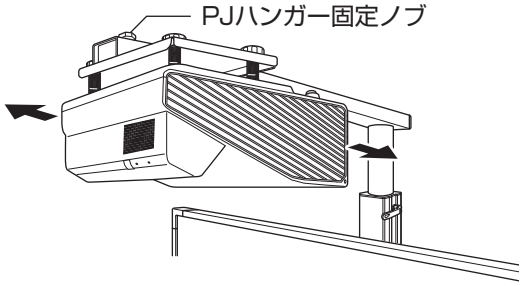
プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJ アーム固定ノブを緩め、PJ アームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して 90 度の位置になるよう調整します。
2. PJ アーム固定ノブを締めます。
   PJ アーム固定ノブを締めるときは、PJ アームが回転しないよう手で押さえてください。



プロジェクター位置の調整（前後）

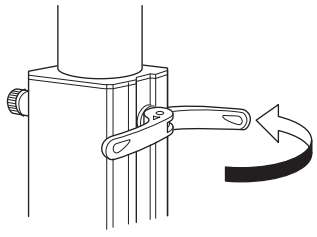
1. PJ ハンガー固定ノブを緩め、PJ ハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJ アームのスリットの中心付近から調整を始め、位置を決めたら PJ ハンガー固定ノブを締めます。



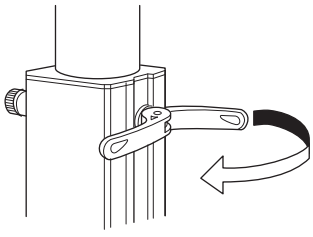
プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

参照　詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書 14 ページ　7 項「画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する。」以降を参照してください。

PJ アーム固定レバーを緩める／締める



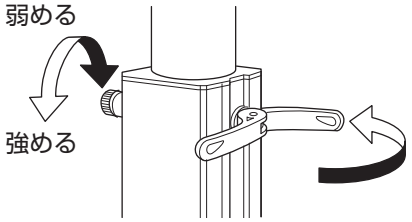
PJ アーム固定レバーを起こして緩める



PJ アーム固定レバーを手前に倒して締める

PJ アームの固定力が弱いとき…

PJ アーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。
※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因となります。



画像微調整チャート

画像の上辺がスクリーン枠内におさまり、スクリーン枠上辺に沿って画像が水平になっているか？
＊画像の左右、下辺ははみ出ていてもかまいません。

＊おさまっているが画像を上にずらしたい

PJ 角度調整ノブのスクリーン側２つを時計回りに締め、画像の上辺がスクリーン枠の上辺に合うよう画像の位置を上げて調整する。

おさまっている・枠に沿って水平

＊はみ出している画像を下にずらしたい

PJ 角度調整ノブのスクリーン側２つを反時計回りに緩め、画像の上辺がスクリーン枠内におさまるよう画像の位置を下げて調整する。

画像の上辺左右が、スクリーンの枠内におさまっているか？

はみ出していないが画像が小さい

PJ ハンガーをスライドさせてプロジェクターの位置をスクリーンから離し、画像の上辺左右がスクリーンに入る位置で固定する。このとき、スクリーン枠の左右と画像の間に 10 mm～ 20 mm程度余白ができる画像サイズに調整する。

適度なサイズでおさまっている

画像がはみ出している

PJ ハンガーをスライドさせてプロジェクターの位置をスクリーンに近づけて、画像の上辺左右がスクリーンに入る位置で固定する。このとき、スクリーン枠の左右と画像の間に 10 mm～ 20 mm程度余白ができる画像サイズに調整する。

画像の上辺左右の余白の幅が均等になるよう PJ アームの向きを左右に振って調整し仮固定する。

画像の下方へ向かって、台形になっているか？

下が広がった台形

PJ 角度調整ノブのスクリーン反対側（手前）２つを反時計回り（緩めて）に回し、画像の台形がおさまるように調整する。

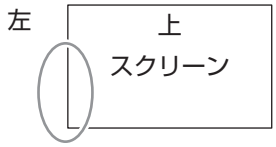
下がすぼまった台形

PJ 角度調整ノブのスクリーン反対側（手前）２つを時計回り（締め込んで）に回し、画像の台形がおさまるように調整する。

画像の左、または右の縦ラインが垂直になっていない。

左の垂直が出ていない

画像左下コーナーを内側または外側に動かし、垂直に近づける。

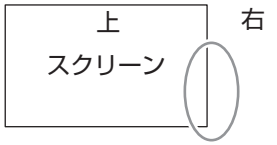


内側へ：PJ 角度調整ノブの左手前側をゆるめる

外側へ：PJ 角度調整ノブの左手前側を締め込む

右の垂直が出ていない

画像右下のコーナーを内側または外側に動かし、垂直に近づける。



内側へ：PJ 角度調整ノブの右手前側をゆるめる

外側へ：PJ 角度調整ノブの右手前側を締め込む

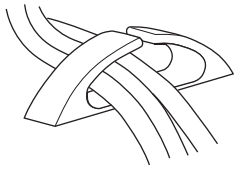
画像の下辺の水平が出ていない場合は、PJ アームを左右に数 mm 振って調整する。

プロジェクターのフォーカスを合わせる。
※ プロジェクターの取扱説明書参照

PJ アーム固定ノブを本締めして、PJ アームが動かないように固定する。

ケーブルを整理する

ケーブル類はスクリーンボードとパンタグラフの間に通し、付属のケーブルホルダーで束ねて整理してください。PJ アームや本体背面に取り付けてご使用ください。



◆注記　パンタグラフにはケーブルホルダーを取り付けないでください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。

製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課　〒 141-0021 東京都品川区上大崎三丁目１番１号 JR 東急目黒ビル 15F　TEL：(03) 5719-7482